

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	成長分野における大学院教育のリカレント機能強化事業			担当部局庁	高等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定) 年度	令和8年度	担当課室	大学振興課	大学振興課長 古田 和之	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	・「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日教育未来創造会議) ・「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定) ・「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定) ・「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日閣議決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	従来の日本型雇用システムが転換期を迎えつつある中で、社会人に対する高度なリスキリング・リカレント教育を産学官が連携して実施することが期待されており、教育実施主体として大学院の役割が重要であることから、リカレントを経営の柱に設定する等の大学院の構造改革を促すとともに、産業界と一体となった教育モデルの構築による仕事と学びの好循環を起し、新しい価値を創造する大学院の創出や、成長分野における課題解決・発展に資する人材育成を推進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	●メニュー①:成長分野向けリカレント教育高度化支援 <期間:単年度> 既存リカレント教育プログラムの成長分野(DX、GX、先端科学技術【量子・AI・バイオ】、スタートアップ)への教育内容転換及び機能高度化(オンライン環境構築、平日日中の回避)に向けた補助 ●メニュー②:リカレント教育モデルの構築による大学院教育改革支援 <期間:令和5年度～8年度> 民間企業等との「組織」連携のもと、大学院のリカレントに係る組織内改革(大学院における経営の柱に設定、恒常的な教育実施体制の構築等)を進めながら、養成する人材像やスキルセットを明確化したオーダーメイド型のリカレント教育学位プログラムの構築への補助 【補助率:定額補助】						
実施方法	補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	667
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計		0	0	0	0	667
	執行額		-	-	-	-	
	執行率(%)		-	-	-	-	
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	研究拠点形成費等補助金	-	660	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致していない場合がある。			
	研究拠点形成等業務庁費	-	4	要求額のうち「重要政策推進枠」:667百万円			
	研究拠点形成等謝金	-	2				
	研究拠点形成等委員等旅費	-	1				
	研究拠点形成等業務旅費	-	0.7				
計		-	667				

活動内容 (アクティビティ)		大学院における既存リカレント教育プログラムの成長分野(DX、GX、先端科学技術【量子・AI・バイオ】、スタートアップ)への教育内容転換及び機能高度化(オンライン環境構築、平日日中の回避)に向けた取組を行う大学に対する補助を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	大学院における既存リカレント教育プログラムの成長分野への教育内容転換及び機能高度化の推進	メニュー①によるリカレント教育プログラム構築件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	12	
算出根拠				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
単位当たりコスト	執行額(百万円)÷採択件数(件) (メニュー①)			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-	
				計算式	百万円/件	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 5年度	
	成長分野に係る高度なリカレント教育を受けた人材の輩出	メニュー①により構築されたリカレント教育プログラムの延べ受講者数	成果実績	人	-	-	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	60	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	補助事業者からの取組状況報告(予定)									
活動内容 (アクティビティ)		民間企業等との「組織」連携のもと、大学院のリカレントに係る組織内改革(大学院における経営の柱に設定、恒常的な教育実施体制の構築等)を進めながら、養成する人材像やスキルセットを明確化したオーダーメイド型のリカレント教育学位プログラムの構築を行う大学に対する補助を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	民間企業等との「組織」連携のもと、大学院のリカレントに係る組織内改革を進めながら、養成する人材像やスキルセットを明確化したオーダーメイド型のリカレント教育学位プログラム構築の推進	メニュー②によるリカレント教育プログラム構築件数 ※令和5年度は開発期間のため、実績は令和6年度から生じる見込み	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	-	
算出根拠				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
単位当たりコスト	執行額(百万円)÷採択件数(件) (メニュー②)			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-	
				計算式	百万円/件	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 8年度	
	新しい価値を創造する大学院の創出や、成長分野における課題解決・発展に資する人材育成の推進	メニュー②により構築されたリカレント教育学位プログラムの修了者延べ数	成果実績	人	-	-	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	30	90	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	補助事業者からの取組状況報告(予定)									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	4 個性が輝く高等教育の振興							
		施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上		政策評価書URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisek02-000017742-4_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisek02-000017742-4_1.pdf</a>				
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021 取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
		該当箇所								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日教育未来創造会議)や「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものであり、社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日教育未来創造会議)や「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日教育未来創造会議)や「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものとして必要かつ適切な事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経てその妥当性や競争性を確保しながら選定する予定。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定を予定しており、国費の負担割合は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	補助金を交付する際に、交付先から提出される申請書等に基づいて、事業経費の費目・使途の内容について把握し、妥当なコスト水準であることを厳正に確認する予定。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、資金の流れを確認する予定。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する予定。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業年度毎に各機関から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況、事業目的との整合性、コスト水準等について確認を行う予定。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に適した定量的な成果実績を把握することを予定。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国公私立大学等を通じた競争的環境の下、国として進めるべき改革を積極的に推進する大学等の取組を選定・支援する予定であり、効果的な事業として実施する。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	本事業は、定量的な活動指標を設定した上で実施を予定しており、活動実績の着実な向上に向けて実施することから、見込みは妥当である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業における成果等については、実施機関によるホームページや各種メディアへの展開のほか、実施機関による成果発表会等を通じて活用の促進を図ることを予定。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」や「経済財政運営と改革の基本方針2022」等に盛り込まれた政策を実現するものとして、計画的かつ確実に人材の育成や学び直しのための環境整備を行う観点から、国が財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されることになっている。	
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、毎年度の進捗状況・取組実績等を報告書により確認し、事業内容の改善・定着、成果の普及・発信を行うこととする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見

事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

